

うちの近所 コレイチ

わが町 自慢紹介 104



星ヶ丘
洋裁学校
枚方市

自然の中で洋裁を学ぶ
「ひこぼしくん」の衣装も制作

「ひこぼしくん」華麗に変身

枚方市のキャラクターは牛飼いの「ひこぼしくん」です。2012年のデビュー以来、青い着物姿でしたが、2021年に濃紺のタキシード風の衣装にお着替えしたのです！

星ヶ丘洋裁学校で作ってもらった衣装を着るひこぼしくん(枚方市ホームページより)



「自然の中で自分らしく共に学ぶ」

その衣装を枚方市とのコラボで制作したのが「星ヶ丘洋裁学校」です。1948(昭和23)年の設立で、コンセプトは「自然の中で、自分らしく共に学ぶ」。設立当時の木造平屋の校舎や自然環境を今も大切に残し、静かな空間で、それぞれが必要とする洋裁技術を学べます。生徒は随時募集しており、「私はこんな服を



自然の中にたたずむ、趣のある門

創りたい」という思いを大切に、生徒の希望に寄り添った授業を少人数で行います。年齢や生活環境が異なる生徒たちが、幅広い視野で技術を高めることができるのも特徴です。

自然を活かした取り組みも

昭和にタイムスリップしたような空間では、桜花祭、七夕祭、お月見会や生徒の作品発表などが行われています。また、大自然に溶け込んだ「SEWING GALLERY」やカフェもあり落ち着いた場所です。

京阪交野線「星ヶ丘駅」下車徒歩3分
電話：072-840-2476
<https://hoshigakagakuken.net/>

16分がえいが

「1秒先の彼女」



失くした「1日」を探すなかで見つけたもの

台湾発のちょっと風変わりなラブ・ストーリー。小さい時から何をしても人よりワンテンポ早く、いつも周りとタイミングがずれてしまうシャオチー。郵便局に勤める彼女は、恋人なし、仕事にも満足できず、自宅と職場を往復するだけの毎日とうんざりしています。ある日の仕事帰り、公園でハンサムなダンス講師と知り合い、パレインタイナーにデートをする約束をしました。当日の朝目覚めると、その翌日になっていました。前日の記憶はないのに、なぜか日焼けし、街の写真館には撮った覚えのない自分の写真が、不可解な現象に戸惑います。大事なデートの日はどこに？一転、何をすることも人よりワンテンポ遅いグアタの物語が始まります。彼は、シャオ

チーが働く郵便局に毎日手紙を出しにやってくる青年です。シャオチーは、日焼けし腫れあがった彼の顔を見て何かを感じ、消えた1日を探索しようと決意し旅に出るのです。シャオチーが2人のタイムラグ(時間差)に気づき、性急に生きてきたことで失くした大切な思い出にたどり着く物語です。もう一つの時間の流れの中で進行する消えた1日の描写はユニークで、その解釈には様々な意見があるでしょうが、かつて蒸発したシャオチーの父の話やグアタイの純な心が生み出すファンタジーは、いろんなことを問いかけます。監督は台湾新世代の異端児と言われているチェン・ユーシユン。この作品で、台湾アカデミー賞の5部門を受賞しました。

Culture Navi かるちがーた、び

作りませんか

給食の
人気
メニュー

イタリアンひじき

吹田市職労 東澤 隆一さん

協力：現業評議会・給食部会



材料(4人分)

ベーコン25g、ひじき(乾)15g、にんじん30g、ピーマン30g、パプリカ25g、にんにく少々、オリーブオイル少々、こいくちしょうゆ20g、酒20g、塩少々、こしょう少々、水20~30cc。

作り方

- ①ベーコンは1cmに切る。ひじきは水で戻し、丁寧に洗う。
- ②にんじんはせん切り、にんにくはみじん切り、ピーマン・パプリカはせん切りにする。
- ③オリーブオイルを熱し、にんにくを炒めて香りを出し、ベーコンを炒め、にんじん・ひじきを炒める。
- ④水と調味料を加えて煮る。水分がなくなってきたら、ピーマン・パプリカを入れて炒り煮する。水分がほとんどなくなればでき上がり。

季節のパプリカを入れて、カラフルに仕上げました。ひじきの洋風メニューです。

今月の
記念日
6月19日
ロマンスの日

この日は、老若男女問わず、「本当に大切な人と極上の1日を過ごす」ことを推奨している日です。大切なパートナーとの仲がいつまでも続くようにと、この日に非日常的な演出をしてもらおうと、「ロマン(6)ティック(19)」のごろ合わせから、日本ロマンチスト協会が制定しました。日本ロマンチスト協会は、現在の日本では1時間に約30組のカップルが離婚しているという現状から、大切なパートナーとの関係をよりよいものにするための普及活動を行っており、「大切な人を世界で一番幸せにできる人」を「ロマンチスト」と定義して応援しています。

心に響く
このひとこと

You'll Never Walk Alone

オスカー・ハマースタイン2世
(アメリカのミュージカル作家・脚本家 1895年~1960年)

「君はひとりぼっちじゃない」サッカーの名門リヴァプールFCのチャント(応援歌)です。スタジアムを埋め尽くしたサポーターの大合唱が響くとき、どんな逆境にあってもリヴァプールFCの選手たちはあきらめません。「君はひとりぼっちじゃない」4月に採用された仲間たちに、この言葉を贈りたい。仕事のことや職場の人間関係などに悩み、苦しむこともあるでしょう。でも、職場に労働組合があるかぎり、あなたはひとりではありません。